

県内の景気動向

概況（2024年2月）

景気は、緩やかに拡大している（6カ月連続）

消費関連では、百貨店売上高は前年を上回る

観光関連では、入域観光客数は前年を上回る

消費関連は、消費マインドは底堅く継続しており、回復の動きが強まっていること、建設関連は資材価格が高止まりしているものの、民間工事の動きが活発化しており、回復の動きが強まっていること、観光関連は、前年同月に実施された全国旅行支援の反動は多少あるものの、連休等により国内外の旅行需要高く、緩やかに拡大していること、総じて県内景気は緩やかに拡大している。

先行きは、底堅い消費マインドと観光需要にけん引され、緩やかな拡大基調が継続するとみられる。

消費関連

百貨店売上高は、8カ月連続で前年を上回った。春節時期における外国客増加に伴い、免税売上の増加が顕著となったほか、バレンタイン企画等による集客効果がみられ好調に推移した。スーパー売上高は、既存店・全店ベースともに21カ月連続で前年を上回った。値上げによる単価上昇に加え、月内に連休が2回あったこと、また、うるう年による営業日数の増加などが売上増加に寄与した。新車販売台数は、一部自動車メーカーによる生産・出荷停止の影響が継続したことなどにより3カ月連続で前年を下回った。家電大型専門店販売額（1月）は、6カ月連続で前年を上回った。

先行きは、新車をはじめとする耐久消費財の先行きに懸念があるものの、消費マインドは底堅い推移が見込まれ、回復の動きが強まるとみられる。

建設関連

公共工事請負金額は、県、市町村は増加したが、国、独立行政法人等・その他は減少したことから4カ月ぶりに前年を下回った。建築着工床面積（1月）は、居住用、非居住用ともに減少したことから2カ月ぶりに前年を下回った。新設住宅着工戸数（1月）は、持家、給与は増加したが、貸家、分譲は減少したことから8カ月ぶりに前年を下回った。県内主要建設会社の受注額は、民間工事は増加したが、公共工事は減少したことから、2カ月連続で前年を下回った。建設資材関連では、セメントは2カ月連続で前年を上回り、生コンは3カ月ぶりに前年を上回った。鋼材売上高、木材売上高は、出荷量が増加したことなどから前年を上回った。

先行きは、資材価格が高止まりしているものの、民間工事の動きが活発化していることなどから回復の動きが強まるとみられる。

観光関連

入域観光客数は、27カ月連続で前年を上回った。国内客は2カ月連続で増加し、外国客は17カ月連続で増加した。県内主要ホテルは、稼働率、売上高、宿泊収入全て2カ月連続で前年を上回った。主要観光施設入場者数は24カ月連続で前年を上回った。ゴルフ場は、入場者数は2カ月連続で減少し、売上高は6カ月連続で前年を上回った。3連休が2回あり日並びが良いなか、那覇発着フライ&クルーズの実施、プロ野球春季キャンプによる集客やマラソン大会などのスポーツイベント開催、春節による外国客の増加もあり好調に推移した。

先行きは、外国からの訪日意欲が高いなか那覇空港発着の航空便の拡充があり、外国客の増加が見込まれること、春休みや連休などの旅行需要があり国内客の増加も予想されることから、緩やかに拡大するとみられる。

雇用関連

新規求人数（1月）は、前年同月比2.4%減と2カ月ぶりに前年を下回った。産業別では、生活関連サービス業・娯楽業、卸売業・小売業、運輸業・郵便業などで減少した。有効求人倍率（1月、季調値）は1.14倍で、前月より0.01ポイント低下した。完全失業率（1月、季調値）は2.8%と、前月から0.2ポイント低下した。

その他

消費者物価指数（1月）は、前年同月比3.2%の上昇となり、29カ月連続で前年を上回った。生鮮食品を除く総合は同3.2%の上昇となり、生鮮食品及びエネルギーを除く総合は4.2%の上昇となった。

倒産件数は6件で前年同月から3件増加した。負債総額は1億5,700万円で、前年同月比62.3%減となった。

りゅうぎん調査（2024年2月）

増減率(%)

	前年同月比	前年同期比 (2023.12-2024.2)
1. 消費関連		
(1) 百貨店(金額)	13.3	6.6
(2) スーパー(既存店)(金額)	9.9	5.2
(3) スーパー(全店)(金額)	10.6	5.8
(4) 新車販売(台数)	▲ 29.5	▲ 19.5
(5) 家電大型専門店販売額(金額)	(1月) 0.8	(11-1月) 2.2
2. 建設関連		
(1) 公共工事請負金額(金額)	▲ 9.1	39.5
(2) 建築着工床面積(m ²)	(1月) ▲ 20.3	(11-1月) ▲ 23.6
(3) 新設住宅着工戸数(戸)	(1月) ▲ 14.2	(11-1月) ▲ 1.7
(4) 建設受注額(金額)	P ▲ 12.5	P ▲ 3.1
(5) セメント(トン数)	2.7	▲ 2.9
(6) 生コン(m ³)	2.5	▲ 2.4
(7) 鋼材(金額)	P 34.2	P 34.7
(8) 木材(金額)	21.1	10.9
3. 観光関連		
(1) 入域観光客数(人数)	20.3	14.2
うち外国客数(人数)	233.6	197.7
(2) 県内主要ホテル稼働率	(前年同月差) P 1.7	(前年同期差) P ▲ 1.0
	(実数) P 63.5	(実数) P 54.7
(3) " 売上高(金額)	P 14.8	P 5.5
(4) 観光施設入場者数(人数)	P 30.4	23.8
(5) ゴルフ場入場者数(人数)	▲ 2.0	▲ 1.3
(6) " 売上高(金額)	7.3	6.1
4. その他		
(1) 県内新規求人数(人数)	(1月) ▲ 2.4	(11-1月) ▲ 3.2
(2) 有効求人倍率(季調値)	(1月) 1.14	(11-1月) 1.14
(3) 消費者物価指数(総合)	(1月) 3.2	(11-1月) 3.5
(4) 企業倒産件数(件数)	(前年同月差) 3	(前年同期差) 3
(5) 広告収入(県内マスコミ)(金額)	(1月) 0.1	(11-1月) ▲ 3.6

(注1) 公共工事請負金額は西日本建設業保証株式会社沖縄支店調べ。建築着工床面積、新設住宅着工戸数は国土交通省調べ。県内新規求人数、有効求人倍率は沖縄労働局調べ。入域観光客数、消費者物価指数は沖縄県調べ。

企業倒産件数は東京商工リサーチ沖縄支店調べ。Pは速報値。

(注2) 2022年4月より家電卸売販売額から家電大型専門店販売額へと更改した。

(注3) ゴルフ場は、2021年4月より調査先を8ゴルフ場から6ゴルフ場とした。

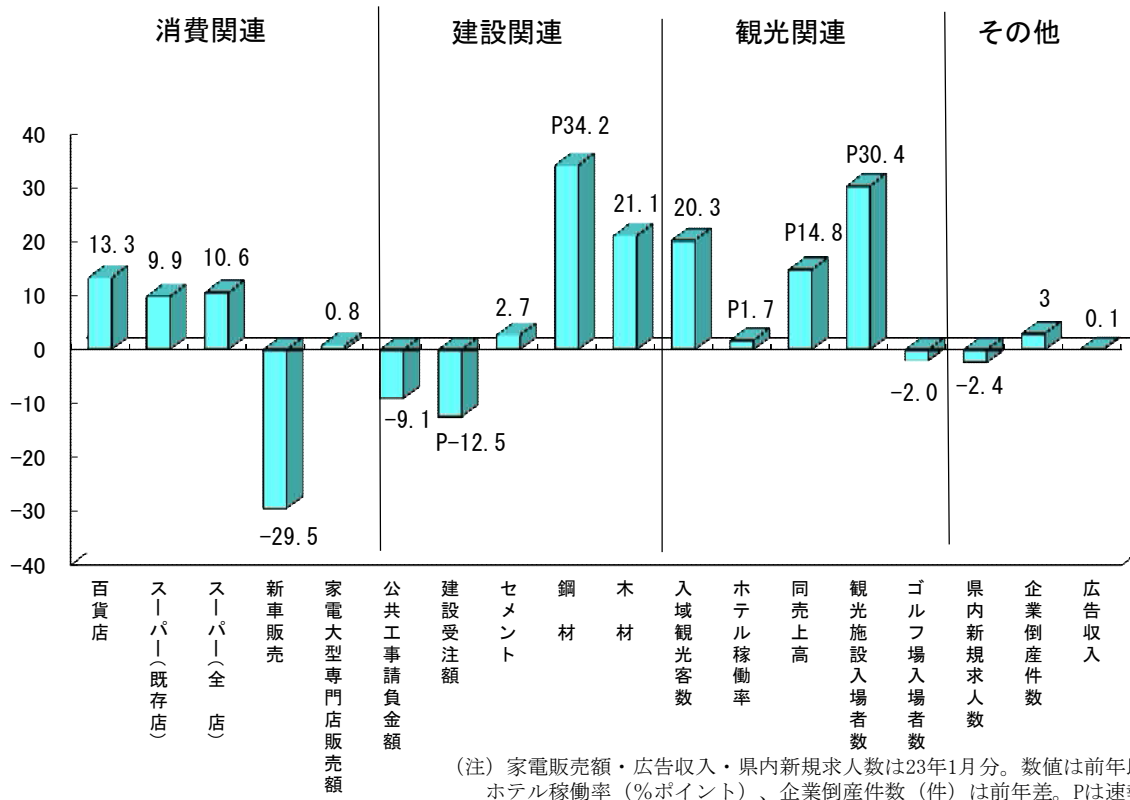
(注4) 主要ホテルは、2021年11月より調査先を28ホテルから27ホテルとした。

(注5) 2016年7月より企業倒産件数の前年同期差は、3カ月の累計件数の差とする。

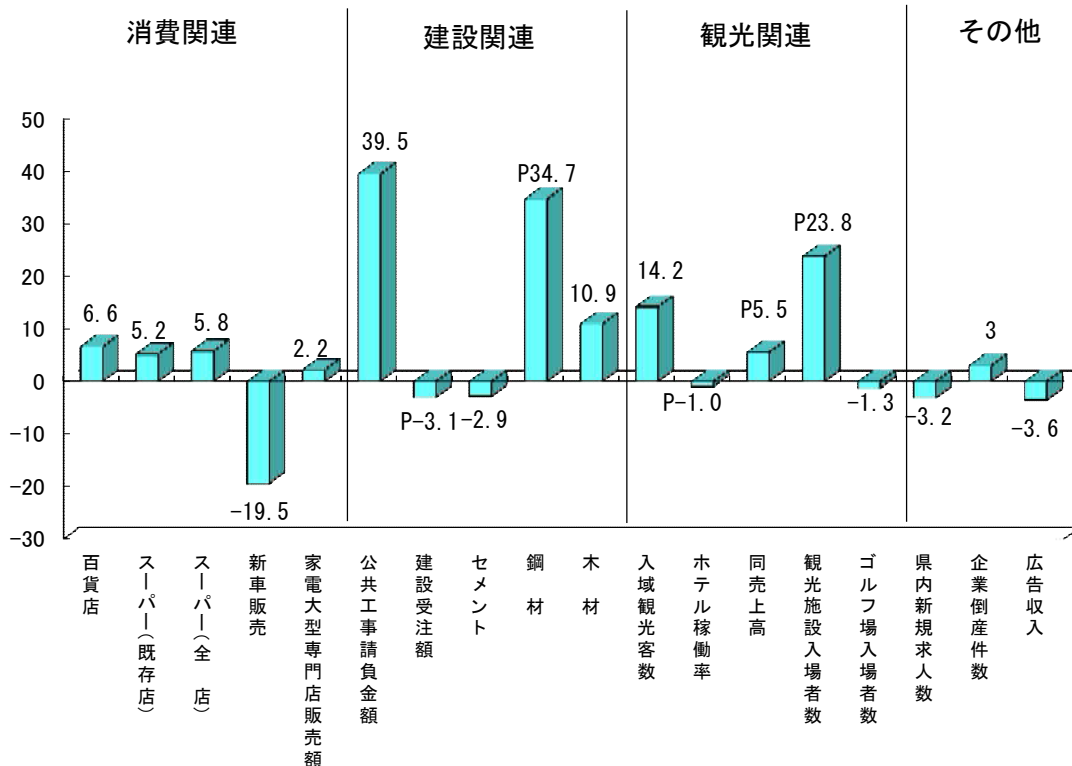
(注6) 建設受注額は、2022年12月より調査先17先のうち、一部更改を行った。

(注7) 有効求人倍率(季調値)と県内新規求人数(人数)は、就業地ベース。

項目別グラフ(単月、2024年2月)

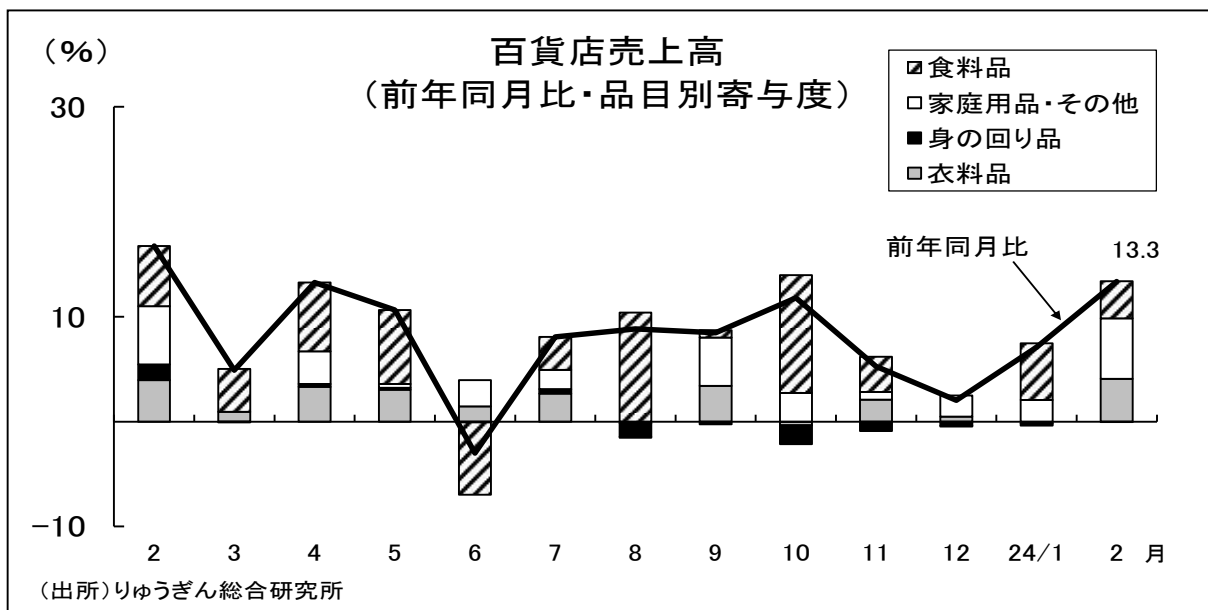


項目別グラフ(3カ月、2023年12月~2024年2月)



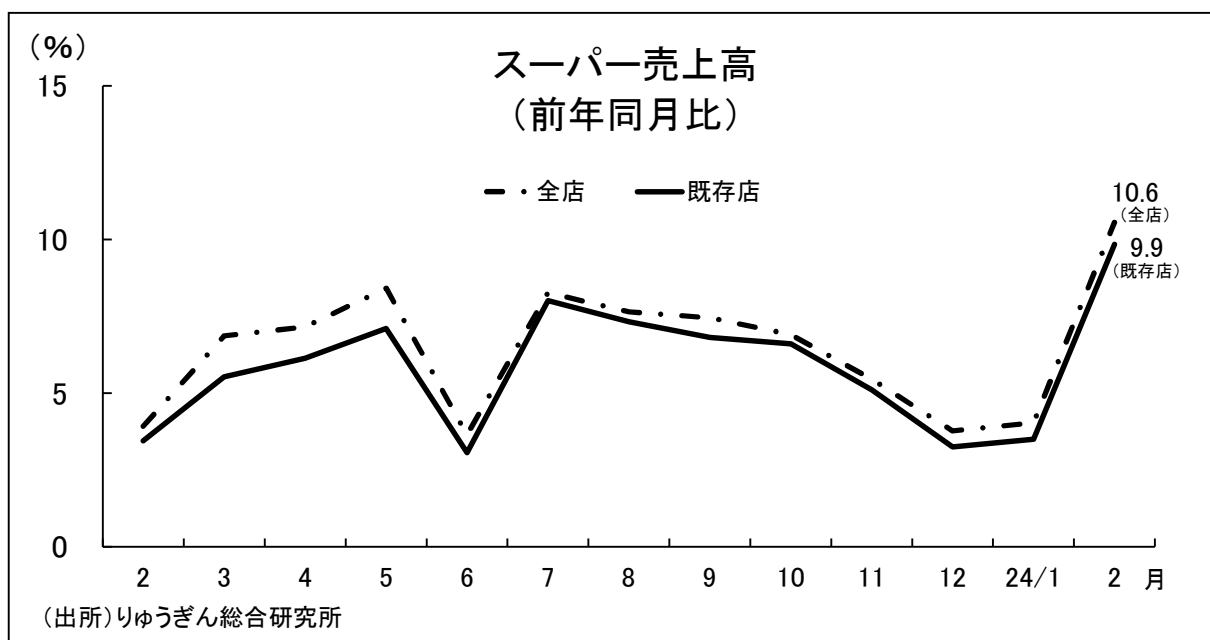
1. 消費関連

(1) 百貨店売上高：8カ月連続で増加



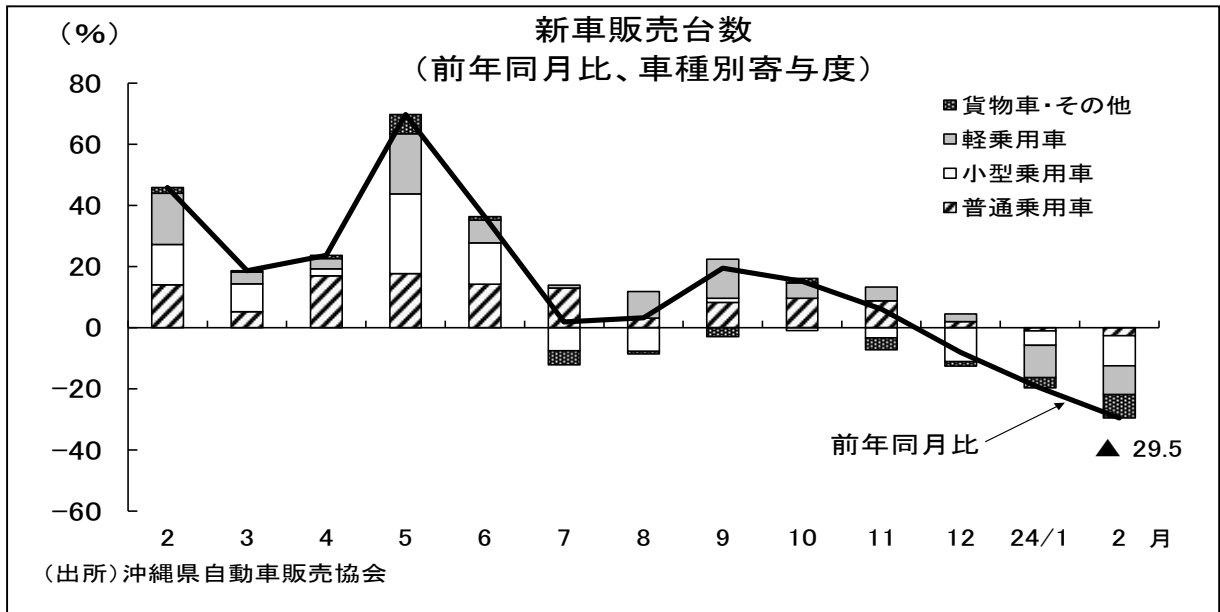
- 百貨店売上高は、前年同月比 13.3%増と 8 カ月連続で前年を上回った。
- 春節時期における外国客増加に伴い免税売上の増加が顕著となったほか、バレンタイン企画や会員向け企画等による集客効果がみられ、好調に推移した。また、うるう年で営業日数が前年より 1 日増加したことも売上増加に寄与した。
- 品目別にみると、衣料品が同 14.0%増、食料品が同 9.6%増、家庭用品・その他が同 21.2%増、身の回り品が同 0.7%減となった。

(2) スーパー売上高：全店ベースは 21 カ月連続で増加



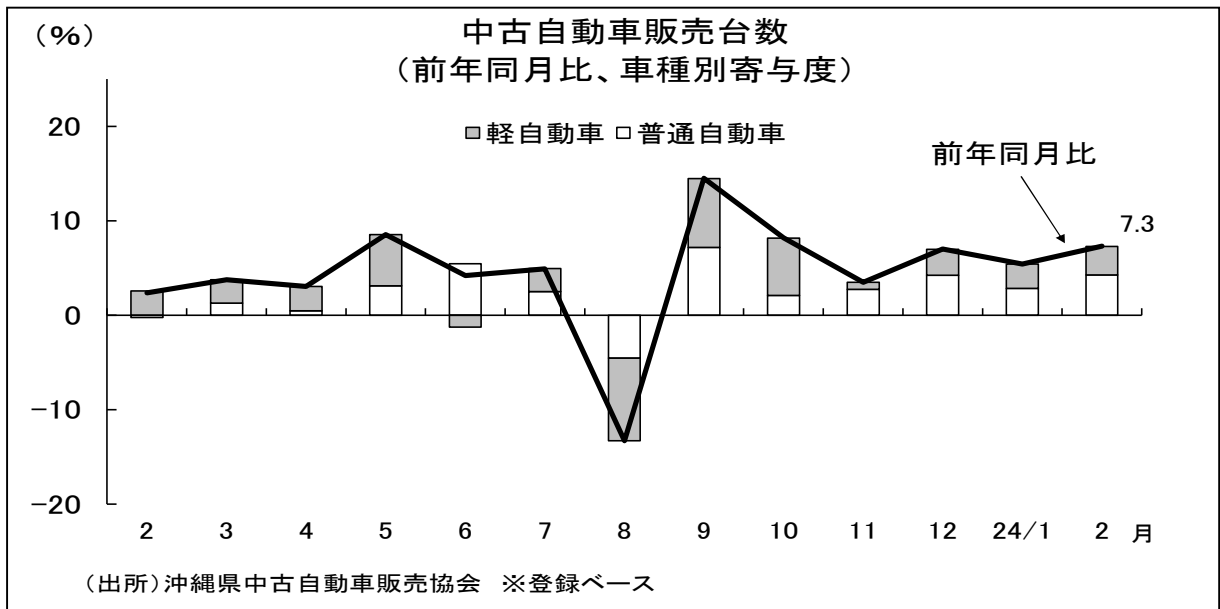
- スーパー売上高は、既存店ベースでは前年同月比 9.9%増と 21 カ月連続で前年を上回った。
- 値上げによる単価上昇に加え、月内に 3 連休が 2 回あり来店客数が増加したこと、また、うるう年の影響などもあり、好調に推移した。
- 品目別にみると、食料品は同 9.8%増、衣料品は同 8.8%増、住居関連は 11.1%増となった。
- 全店ベースでは同 10.6%増と 21 カ月連続で前年を上回った。

(3) 新車販売台数：3カ月連続で減少



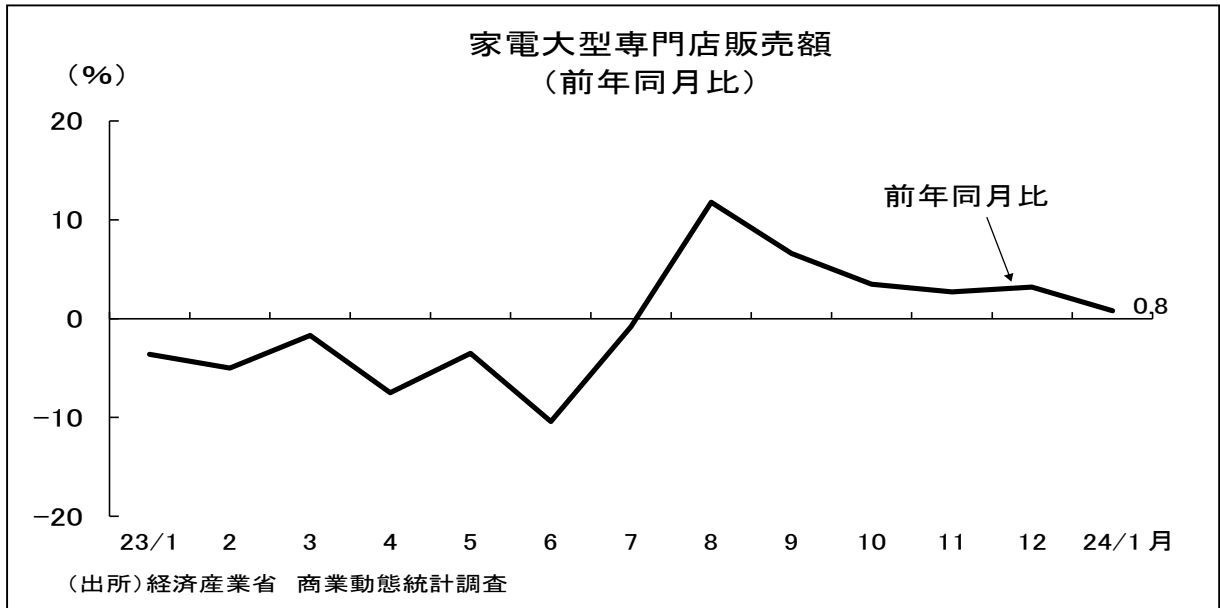
- ・ 新車販売台数は2,913台で前年同月比29.5%減と3カ月連続で前年を下回った。
- ・ 一部自動車メーカーによる生産・出荷停止の影響が継続していることや、観光需要の高まりによりレンタカー登録台数の増加がみられた前年同月の反動などもあり、減少幅が拡大した。
- ・ 普通自動車(登録車)は1,551台(前年同月比25.9%減)で、うち普通乗用車は788台(同12.1%減)、小型乗用車は598台(同40.5%減)であった。軽自動車(届出車)は1,362台(同33.2%減)で、うち軽乗用車は1,140台(同25.3%減)であった。

(4) 中古自動車販売台数(登録ベース)：6カ月連続で増加



- ・ 中古自動車販売台数(普通自動車及び軽自動車の合計、登録ベース)は、1万9,106台で前年同月比7.3%増と6カ月連続で前年を上回った。
- ・ 内訳では、普通自動車が7,355台(前年同月比11.5%増)、軽自動車が1万1,751台(同4.8%増)となった。

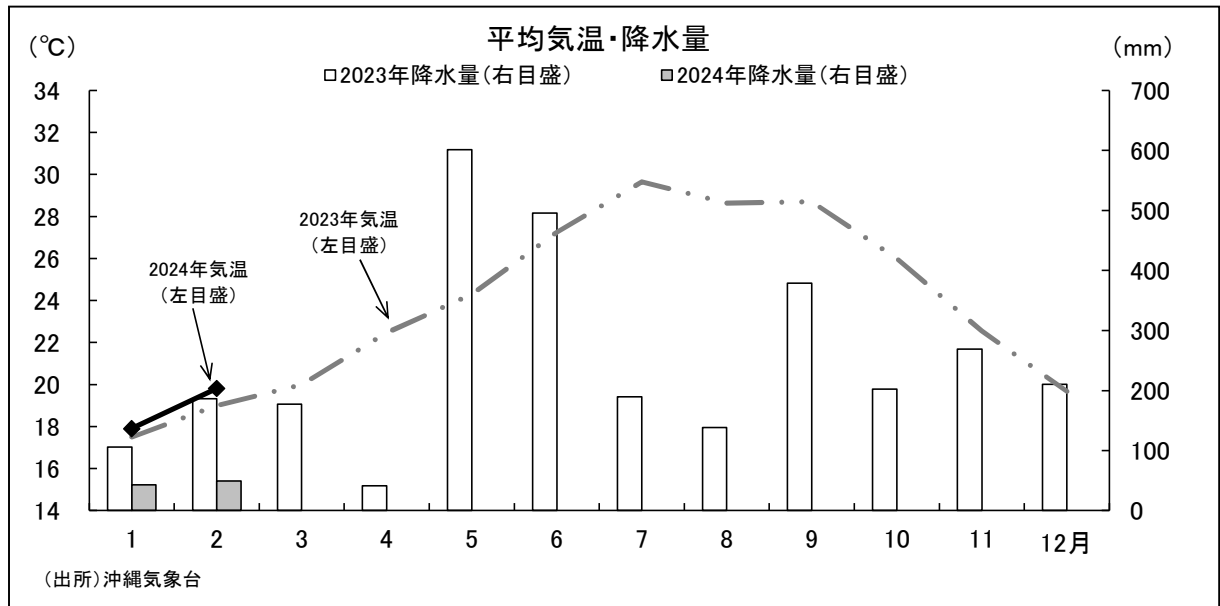
(5) 家電大型専門店販売額：6カ月連続で増加



- ・ 家電大型専門店販売額（1月）は、前年同月比0.8%増と6カ月連続で前年を上回った。
- ・ 来店客数の減少がみられ、増加幅は縮小したものの、値上げによる単価上昇などにより前年を上回った。

(参考)

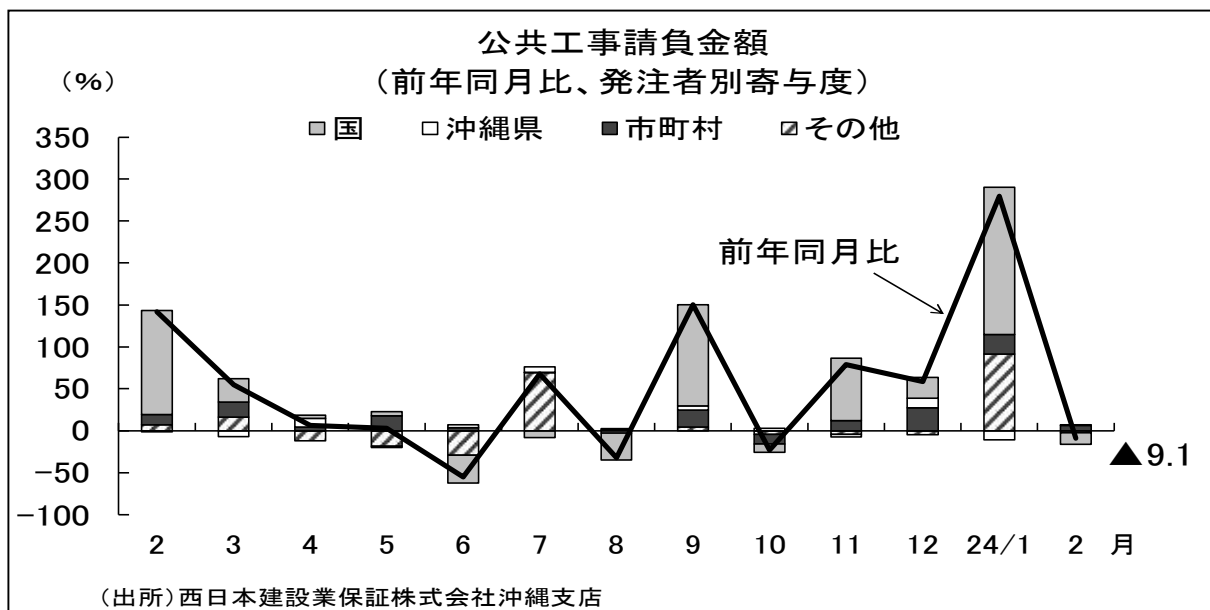
◇ 気象: 平均気温・降水量（那覇）



- ・ 平均気温は19.8℃で前年同月（19.0℃）より高く、降水量は49.0mmで前年同月（77.5mm）より少なかった。
- ・ 気圧の谷や前線及び湿った空気の影響で曇りや雨の日もあったが、月の中旬を中心に高気圧に覆われて晴れた日が多かった。
- ・ 平均気温は平年よりかなり高く、降水量は平年より少なく、日照時間は平年より多かった。

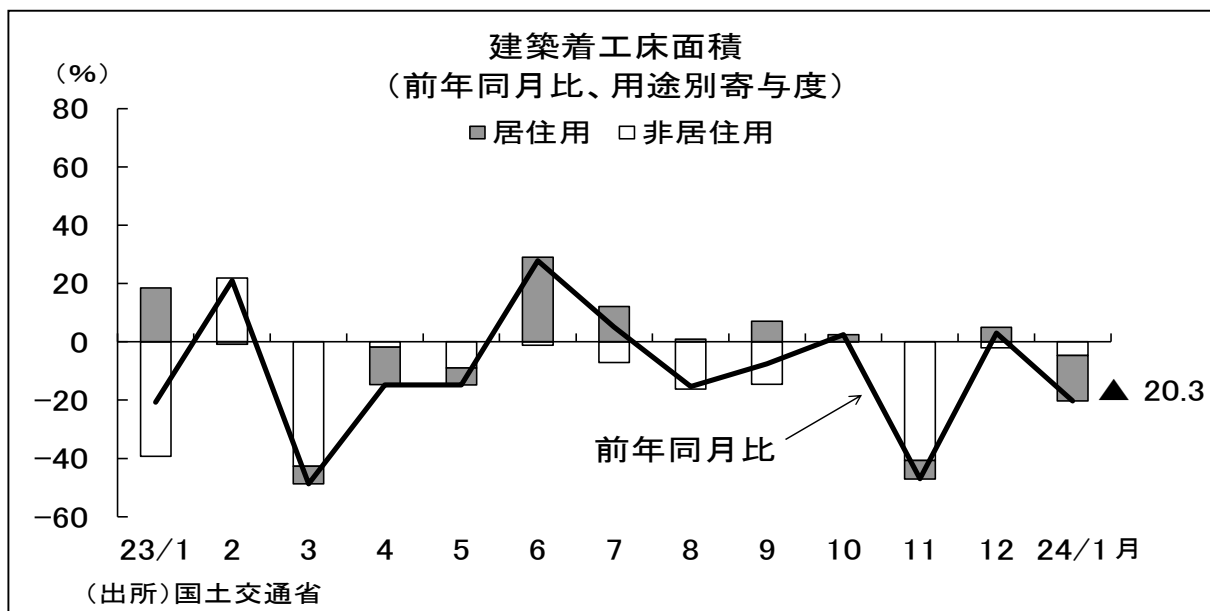
2. 建設関連

(1) 公共工事請負金額：4カ月ぶりに減少



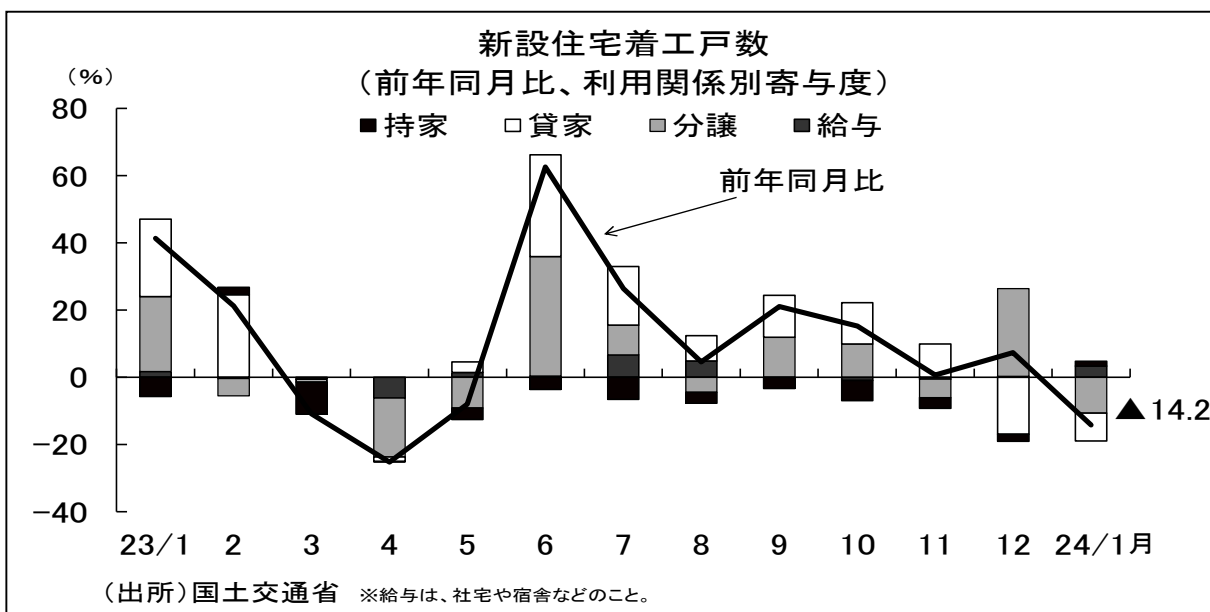
- 公共工事請負金額は、539億8,615万円、県、市町村は増加したが、国、独立行政法人等・その他は減少したことから、前年同月比9.1%減となり、4カ月ぶりに前年を下回った。
- 発注者別では、県は前年同月比12.7%増、市町村は同63.8%増と増加し、国は同16.5%減、独立行政法人等・その他は同81.9%減と減少した。

(2) 建築着工床面積：2カ月ぶりに減少



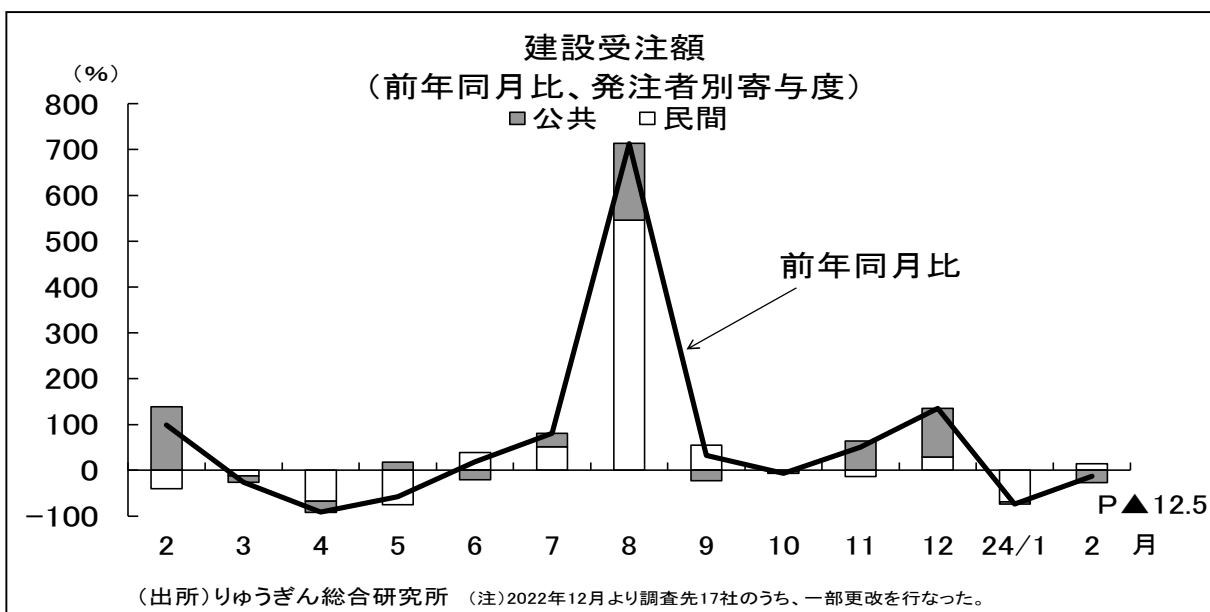
- 建築着工床面積（1月）は7万7,678㎡となり、居住用、非居住用ともに減少したことから、前年同月比20.3%減と2カ月ぶりに前年を下回った。用途別では、居住用は同20.2%減となり、非居住用は同20.7%減となった。
- 建築着工床面積を用途別（大分類）にみると、居住用では、居住専用、居住産業併用ともに減少した。非居住用では、卸売・小売業用が増加し、不動産業用や医療、福祉用などが減少した。

(3) 新設住宅着工戸数：8カ月ぶりに減少



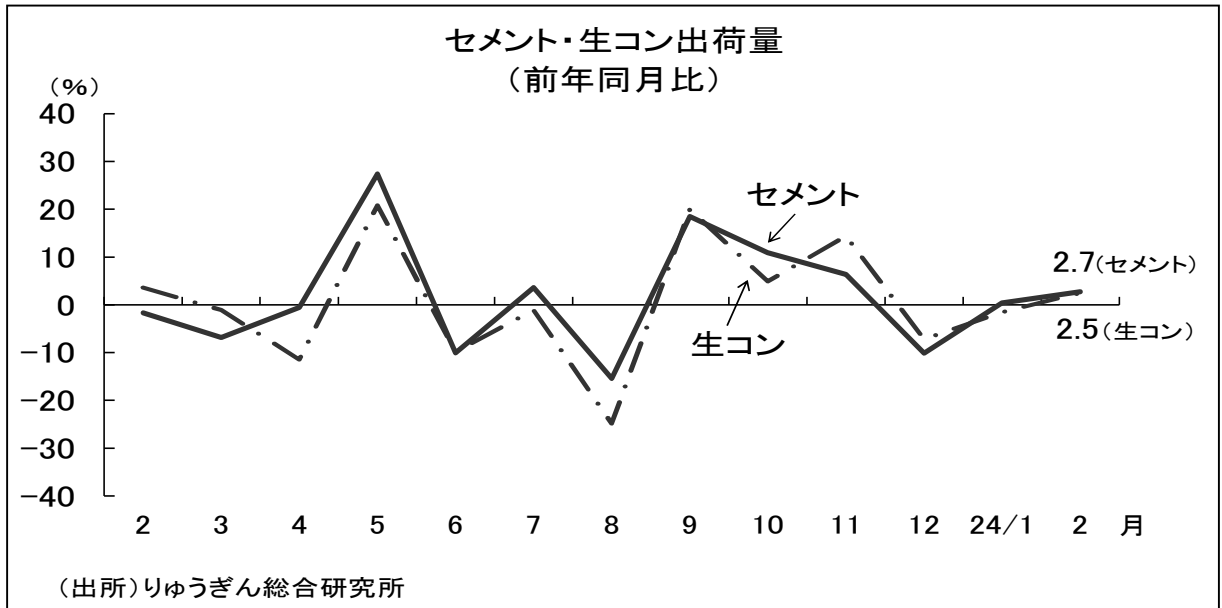
- ・ 新設住宅着工戸数（1月）は768戸となり、持家、給与は増加したが、貸家、分譲は減少したことから前年同月比14.2%減と8カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ 利用関係別では、持家（187戸）が前年同月比7.5%増、給与（41戸）が同272.7%増と増加し、貸家（369戸）が同16.9%減、分譲（171戸）が同35.7%減と減少した。

(4) 建設受注額：2カ月連続で減少



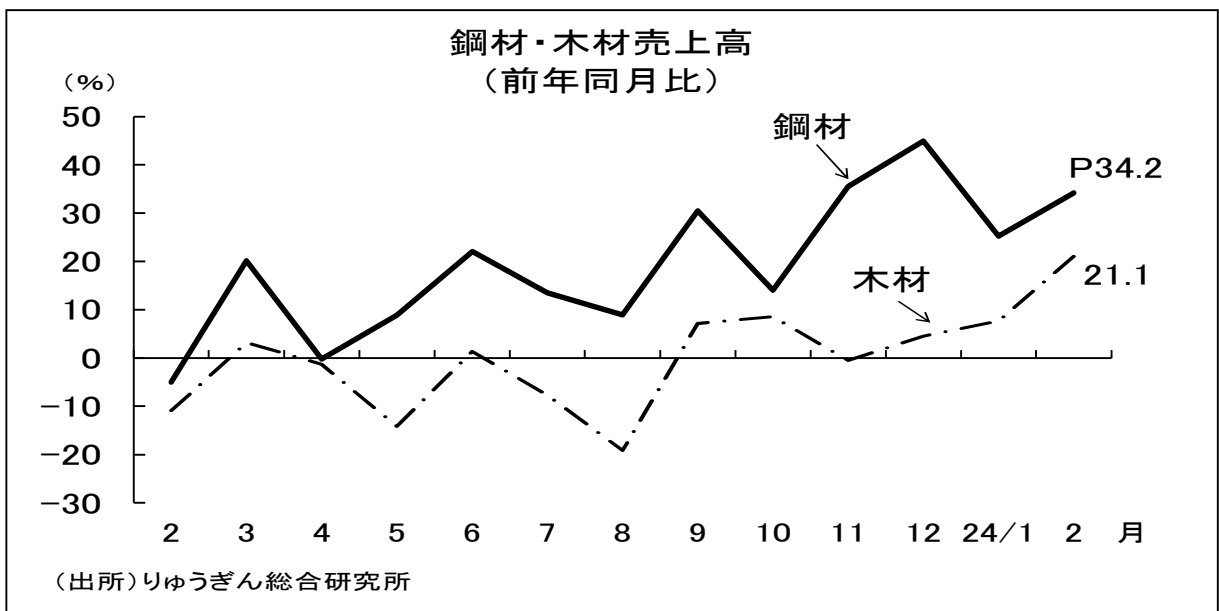
- ・ 建設受注額（調査先建設会社：17社、速報値）は、民間工事は増加したが、公共工事は減少したことから、前年同月比12.5%減と2カ月連続で前年を下回った。
- ・ 発注者別では、公共工事は前年同月比30.3%減と2カ月連続で減少し、民間工事は同123.2%増と2カ月ぶりに増加した。

(5) セメント・生コン：セメントは2カ月連続で増加、生コンは3カ月ぶりに増加



- ・ セメント出荷量は6万2,263トンとなり、前年同月比2.7%増と2カ月連続で前年を上回った。
- ・ 生コン出荷量は10万3,021㎡で同2.5%増となり、3カ月ぶりに前年を上回った。生コン出荷量を出荷先別にみると、公共工事では、防衛省向けや公営住宅向けなどが増加し、橋梁関連向けなどが減少した。民間工事では、貸家向けや共同利用向けなどが増加し、医療関連向けなどが減少した。

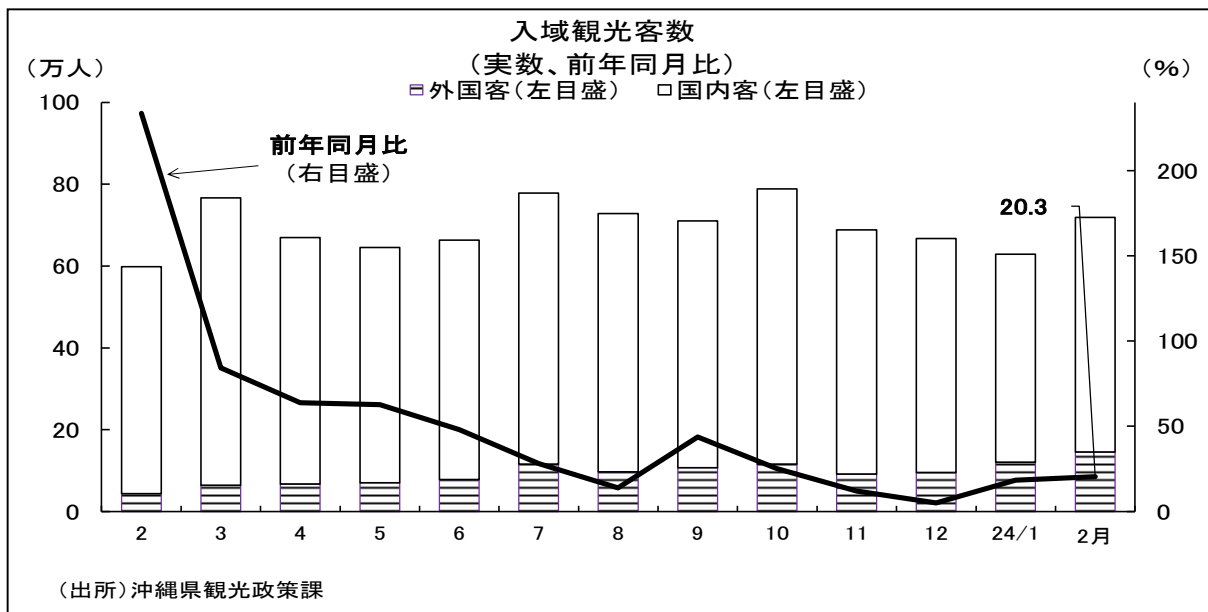
(6) 鋼材・木材：鋼材は10カ月連続で増加、木材は3カ月連続で増加



- ・ 鋼材売上高（速報値）は、出荷量が増加したことなどから前年同月比34.2%増と10カ月連続で前年を上回った。
- ・ 木材売上高は、出荷量が増加したことなどから同21.1%増と3カ月連続で前年を上回った。

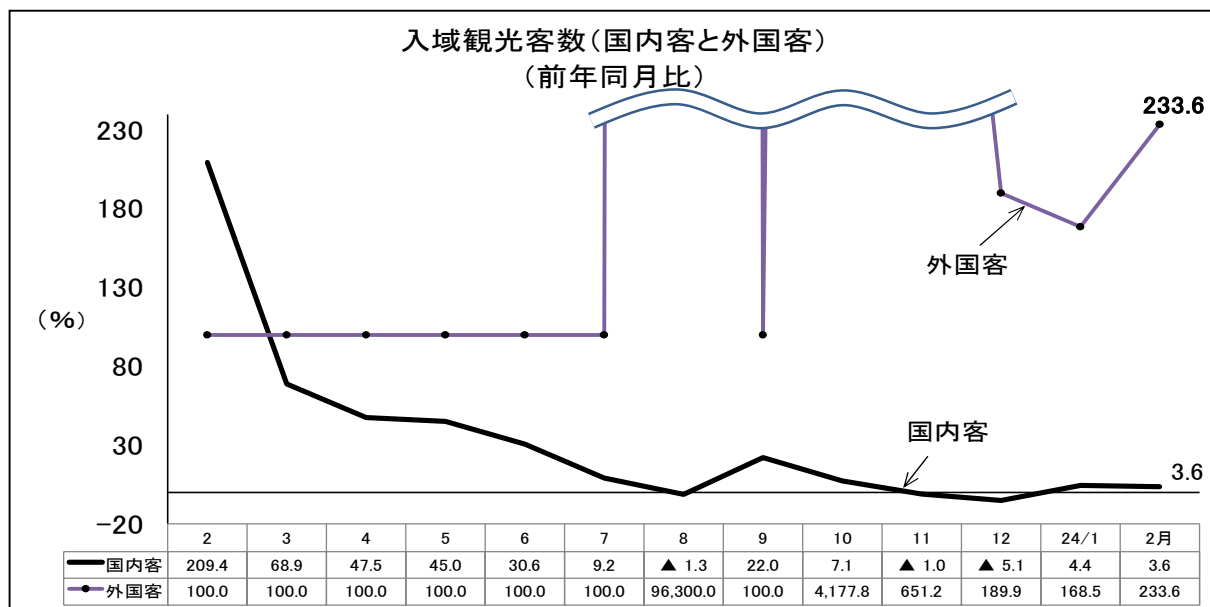
3. 観光関連

(1) 入域観光客数：27 カ月連続で増加



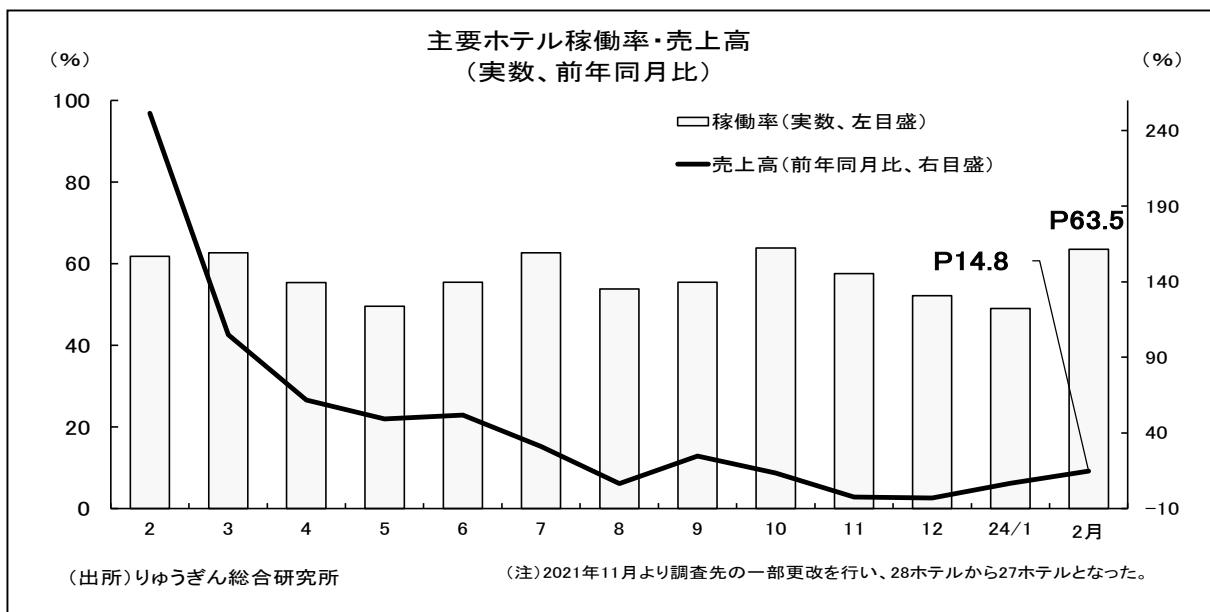
- ・ 入域観光客数は、71万9,200人（前年同月比20.3%増）となり、27カ月連続で前年を上回った。
- ・ 路線別では、空路は66万7,200人（同11.9%増）となり27カ月連続で前年を上回った。海路は5万2,000人（同3,366.7%増）となり18カ月連続で前年を上回った。
- ・ 3連休が2回あり日並びが良かったことに加え、那覇発着フライ&クルーズの実施、プロ野球春季キャンプやマラソン大会などのスポーツイベント開催もあり、前年同月を上回った。

(2) 入域観光客数（国内客、外国客）：国内客は2カ月連続で増加、外国客は17カ月連続で増加



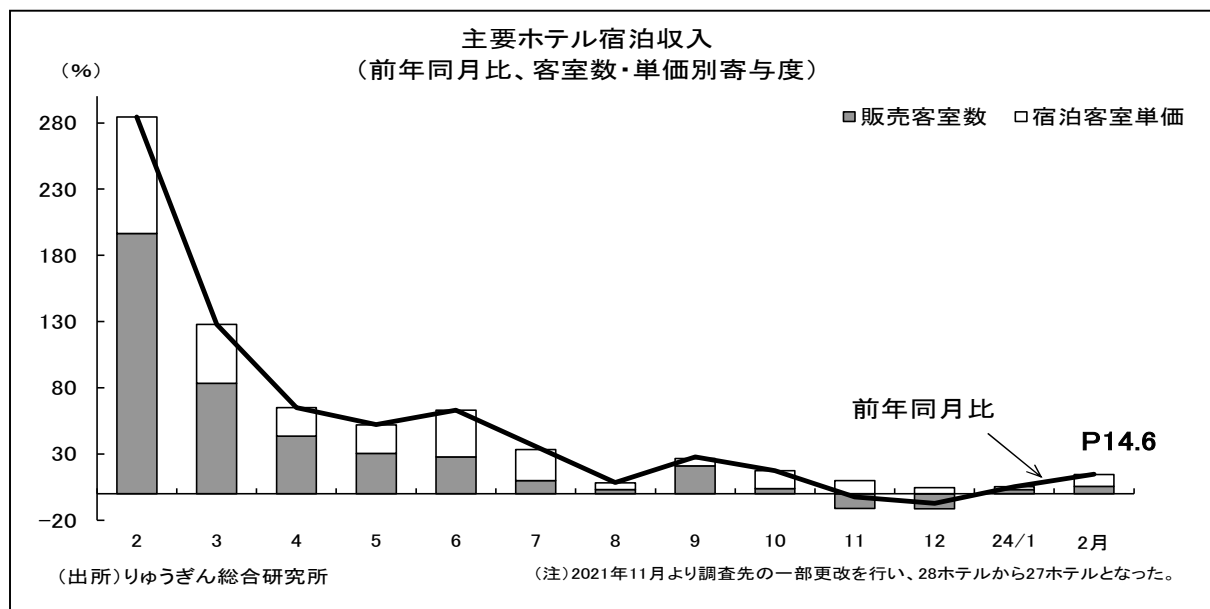
- ・ 国内客は、57万4,400人（前年同月比3.6%増）となり、2カ月連続で前年を上回った。外国客は14万4,800人（同233.6%増）となり、17カ月連続で増加した。
- ・ 春節の大型連休により外国客の旅行需要高く、引き続き好調に推移した。

(3) 主要ホテル稼働率・売上高：稼働率、売上高ともに2カ月連続で増加



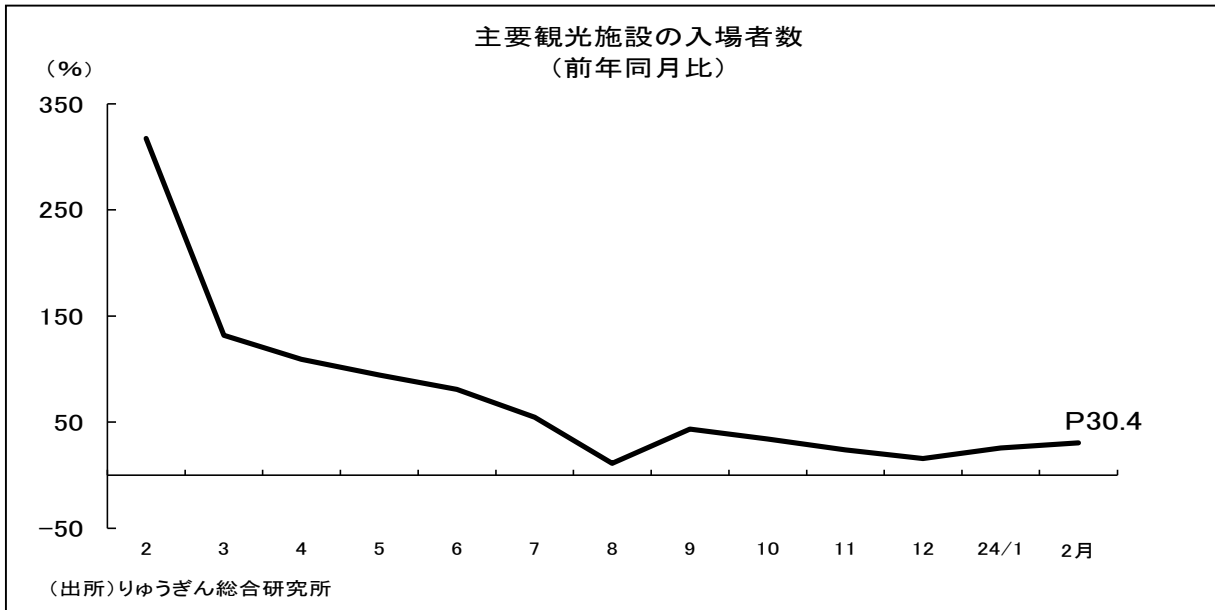
- 主要ホテル（速報値）は、客室稼働率は63.5%と前年同月差1.7%ポイント上昇、売上高は前年同月比14.8%増となり、稼働率、売上高ともに2カ月連続で前年を上回った。
- 那覇市内ホテルの客室稼働率は72.0%と同1.1%ポイント上昇し、2カ月連続で前年を上回り、売上高は同18.8%増と3カ月連続で前年を上回った。リゾート型ホテル（速報値）の客室稼働率は60.4%と同1.9%増、売上高は同13.7%増となり、稼働率、売上高ともに2カ月連続で前年を上回った。

(4) 主要ホテル宿泊収入：2カ月連続で増加



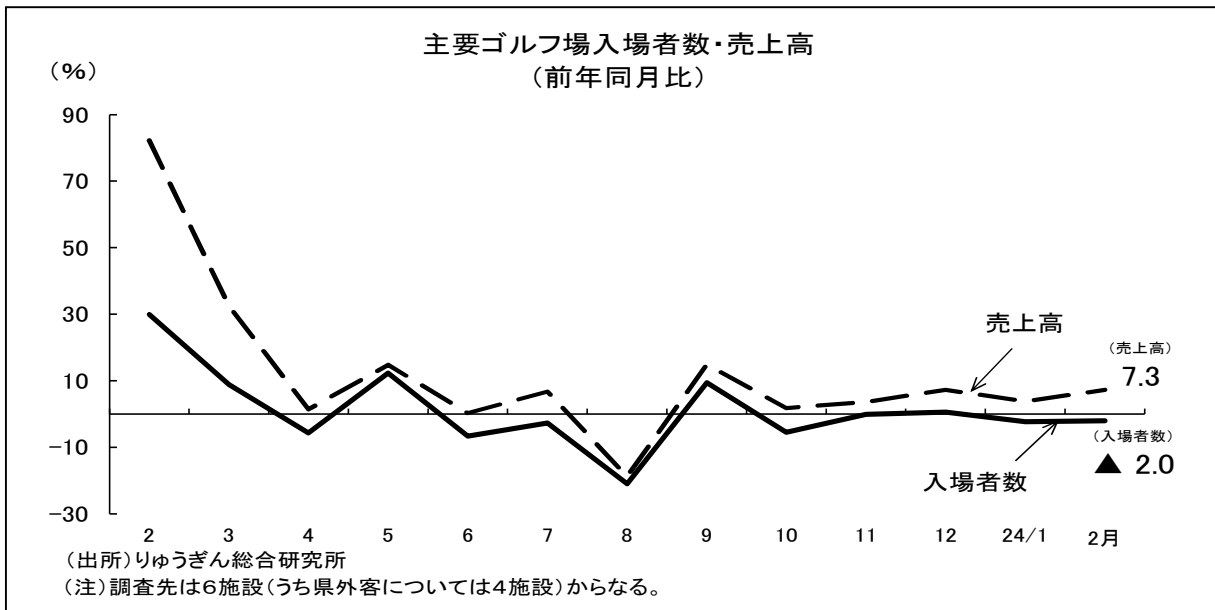
- 主要ホテル（速報値）の売上高のうち宿泊収入は、販売客室数（数量要因）が増加、宿泊客室単価（価格要因）は上昇し、前年同月比14.6%増と2カ月連続で前年を上回った。
- 那覇市内ホテル、リゾート型ホテル（速報値）ともに販売客室数が増加、宿泊単価は上昇し、那覇市内ホテルが同18.0%増、リゾート型ホテル同13.7%増と、2カ月連続で前年を上回った。

(5) 主要観光施設の入場者数：24カ月連続で増加



- ・ 主要観光施設の入場者数（速報値）は、前年同月比 30.4%増と 24 カ月連続で前年を上回った。
- ・ 天候も良く一般個人客や団体客が順調に推移したほか、外国客の利用も増加した。

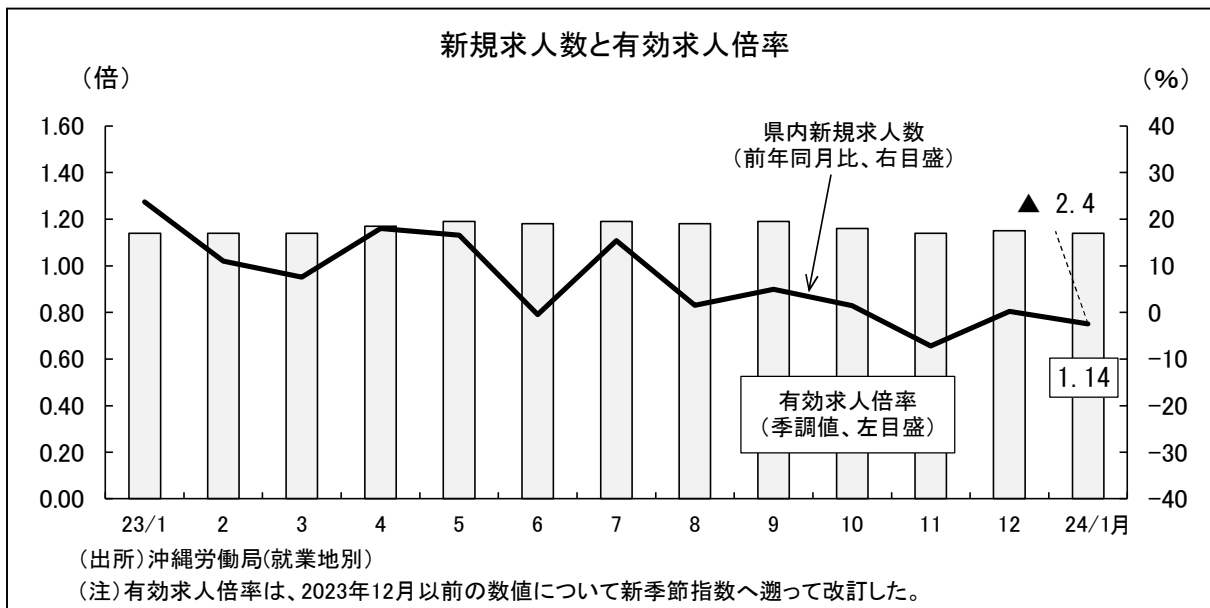
(6) 主要ゴルフ場入場者数・売上高：入場者数2カ月連続で減少、売上高6カ月連続で増加



- ・ 主要ゴルフ場の入場者数は、前年同月比 2.0%減と 2 カ月連続で前年を下回った。県内客は 3 カ月連続で前年を下回り、県外客は 3 カ月連続で前年を上回った。売上高は同 7.3%増と 6 カ月連続で前年を上回った。
- ・ 入場者数は前年より減少したものの、単価の高い県外客や外国客（主に韓国）の利用が増加しており、売上向上に寄与した。

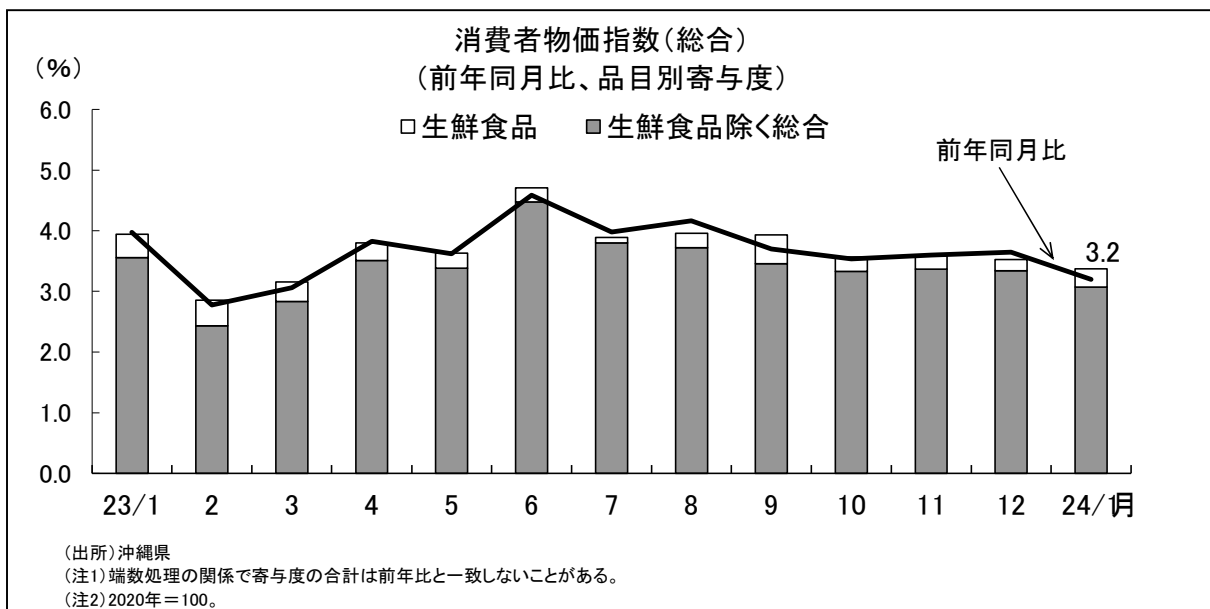
4. その他

(1) 雇用関連（再掲）：新規求人数は減少、有効求人倍率（季調値）は低下



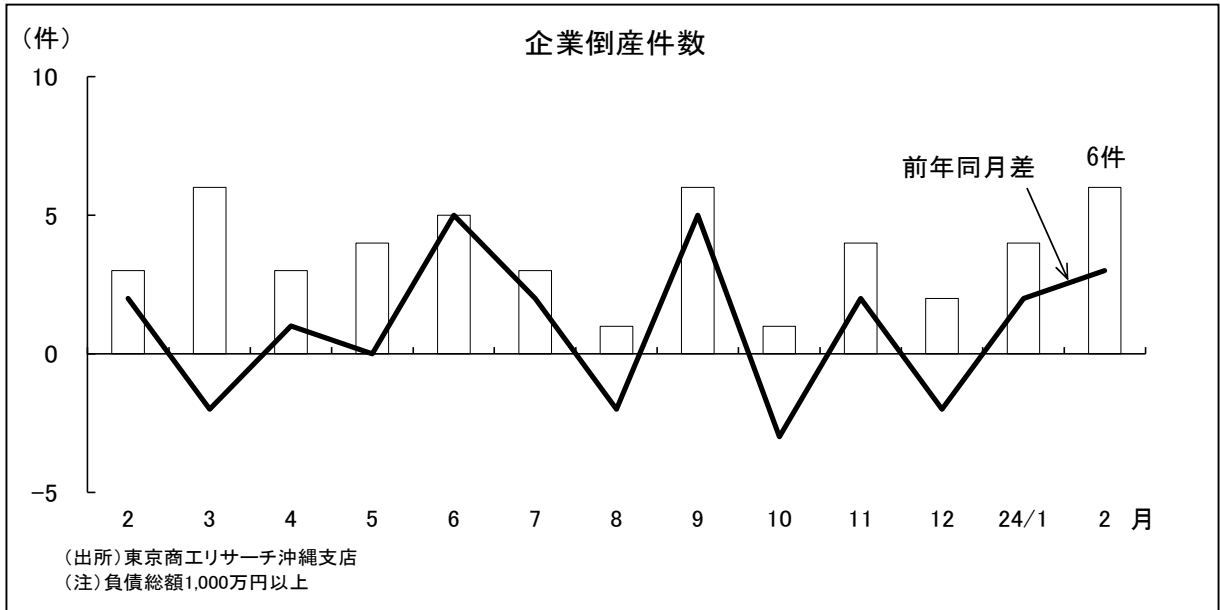
- 新規求人数（1月）は、前年同月比 2.4%減と2カ月ぶりに前年を下回った。産業別では、生活関連サービス業・娯楽業、卸売業・小売業、運輸業・郵便業などで減少した。有効求人倍率（1月、季調値）は1.14倍で、前月より0.01ポイント低下した。
- 労働力人口（1月）は、79万6,000人で同1.1%増となり、就業者数は、77万5,000人で同1.2%増となった。完全失業者数は2万2,000人で前年と同水準となり、完全失業率（1月、季調値）は2.8%と、前月より0.2ポイント低下した。

(2) 消費者物価指数（再掲）：29カ月連続で上昇



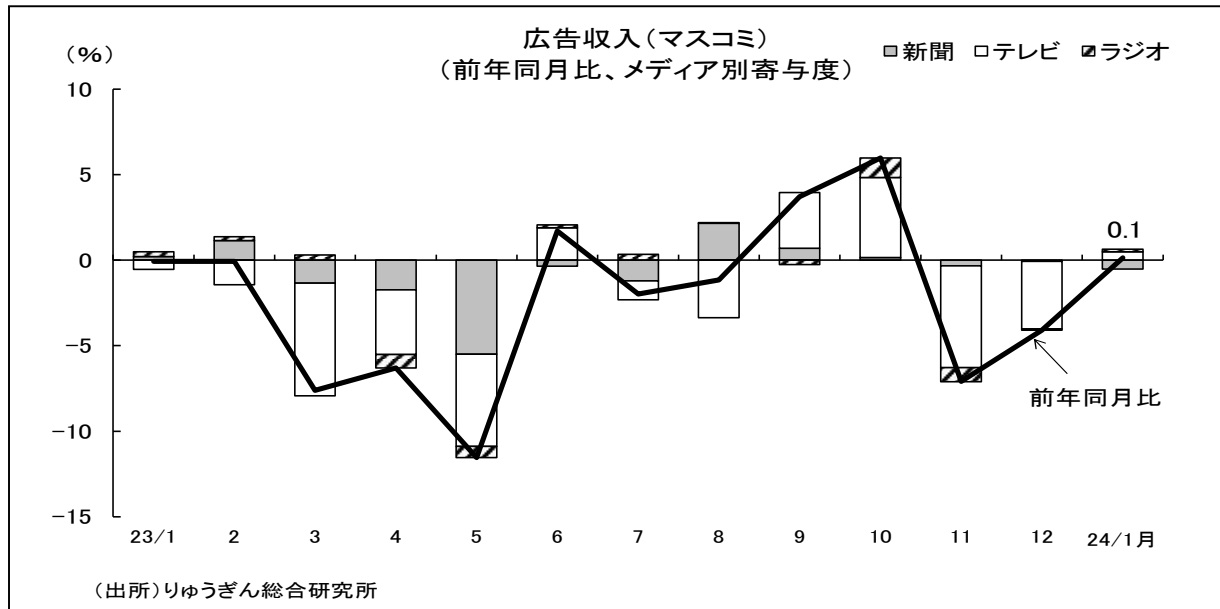
- 消費者物価指数（1月）は、前年同月比 3.2%の上昇となり、29カ月連続で前年を上回った。生鮮食品を除く総合は同3.2%の上昇となり、生鮮食品及びエネルギーを除く総合は同4.2%の上昇となった。
- 費目別の動きをみると、食料、家具・家事用品などで上昇し、光熱・水道などで下落した。

(3) 企業倒産：件数は増加、負債総額は減少



- 倒産件数は、6件で前年同月から3件増加した。業種別では、建設業1件、小売業2件、サービス業他3件となった。
- 負債総額は1億5,700万円で、前年同月比63.5%減となった。

(4) 広告収入（マスコミ）：3カ月ぶりに増加



- 広告収入（マスコミ：1月）は、前年同月比0.1%増と3カ月ぶりに前年を上回った。
- 能登半島地震の影響や一部自動車メーカーの不祥事等により取りやめられた広告があったものの、全体ではほぼ前年と同水準となった。

沖縄県内の主要金融経済指標

沖縄県内の主要金融経済指標(その1)

暦年	百貨店 売上高	スーパー 売上高 (既存店)	スーパー 売上高 (全店)	家電大型 専門店 販売額	新車販売 台数	中古自動 車販売台 数	公共工事請負額		建築着工床面積	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	百万円	前年比	千平米	前年比
2021	▲ 7.9	▲ 1.7	▲ 0.2	21.2	▲ 11.0	1.7	344,381	11.8	1,571	1.0
2022	5.2	2.0	2.5	1.3	▲ 1.2	▲ 7.9	340,357	▲ 1.2	1,519	▲ 3.3
2023	8.4	5.5	6.1	-	19.2	3.6	425,816	25.1	-	-
2023 1	24.8	3.7	4.2	▲ 3.6	32.8	▲ 1.8	11,114	▲ 58.6	97	▲ 20.7
2	16.7	3.4	3.9	▲ 5.0	45.9	2.4	59,359	141.8	99	21.0
3	4.9	5.5	6.5	▲ 1.7	18.6	3.7	84,927	54.9	80	▲ 48.7
4	13.2	6.1	7.2	▲ 7.5	23.7	3.0	17,663	6.4	111	▲ 14.7
5	10.6	7.1	8.4	▲ 3.5	69.8	8.5	14,118	2.8	115	▲ 14.8
6	▲ 3.0	3.1	3.6	▲ 10.4	36.3	4.2	22,582	▲ 55.0	159	27.8
7	8.1	9.4	8.3	▲ 0.8	1.9	4.9	44,353	68.0	99	5.0
8	8.8	8.6	7.6	11.8	3.2	▲ 13.3	26,976	▲ 32.3	97	▲ 15.3
9	8.5	6.8	7.5	6.6	19.5	14.5	73,429	150.2	107	▲ 7.5
10	11.8	6.6	6.9	3.5	15.1	8.2	22,851	▲ 23.0	145	2.4
11	5.3	5.1	5.4	2.7	6.1	3.5	30,627	78.9	89	▲ 47.0
12	2.0	3.2	3.8	3.2	▲ 8.1	7.0	17,812	58.8	139	3.0
2024 1	7.1	3.5	4.0	0.8	▲ 19.7	5.4	42,164	279.4	78	▲ 20.3
2	13.3	9.9	10.6	-	▲ 29.5	7.3	53,986	▲ 9.1	-	-
出所	りゅうぎん総合研究所調べ				自販協	中古 自販協	西日本建設業保証 沖縄支店		国土交通省	

注) 2022年4月より家電卸売販売額から家電大型専門店販売額へと更改した。

注) 新車販売台数の出所は沖縄県自動車販売協会、中古自動車販売台数は沖縄県中古自動車販売協会。

暦年	新設住宅着工戸数		建設 受注額	セメント 出荷数量	生コン 出荷数量	鋼材 売上高	木材 売上高	手持ち 工事額	建設関連 DI (単月)	建設関連 DI (3カ月移 動平均)
	戸	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	指数	指数	指数
2021	9,668	▲ 9.7	▲ 8.4	▲ 15.4	▲ 21.1	▲ 6.0	3.1	-	-	-
2022	9,179	▲ 5.1	21.0	▲ 1.3	0.5	10.3	9.0	-	-	-
2023	-	-	P32.3	0.6	▲ 0.1	P14.6	▲ 2.5	-	-	-
2023 1	895	41.4	157.9	▲ 6.0	▲ 0.2	▲ 12.5	1.5	194.7	0.0	▲ 1.1
2	657	21.2	98.7	▲ 1.7	3.6	▲ 5.0	▲ 10.9	195.1	▲ 3.4	▲ 2.3
3	670	▲ 10.9	▲ 25.9	▲ 6.8	▲ 1.1	20.2	3.2	197.2	0.0	▲ 1.1
4	733	▲ 25.2	▲ 91.5	▲ 0.6	▲ 11.4	▲ 0.3	▲ 1.3	200.2	▲ 6.9	▲ 3.4
5	768	▲ 8.0	▲ 57.4	27.4	20.8	8.8	▲ 14.2	203.5	0.0	▲ 2.3
6	1,213	62.6	18.6	▲ 10.0	▲ 9.8	22.1	1.3	208.1	0.0	▲ 2.3
7	924	26.4	80.6	3.6	▲ 1.1	13.5	▲ 7.7	206.9	▲ 6.9	▲ 2.3
8	847	4.6	713.2	▲ 15.5	▲ 24.8	8.9	▲ 19.2	234.0	0.0	▲ 2.3
9	845	21.1	32.5	18.5	20.0	P30.4	7.2	245.2	6.9	0.0
10	747	15.3	▲ 6.4	10.9	4.9	P14.1	8.6	245.4	3.6	3.5
11	782	0.6	50.7	6.4	14.4	P35.5	▲ 0.5	250.5	▲ 10.7	▲ 0.1
12	1,102	7.3	135.0	▲ 10.1	▲ 7.2	P44.9	4.5	263.5	7.1	0.0
2024 1	768	▲ 14.2	▲ 73.8	0.4	▲ 1.5	P25.2	7.6	263.7	▲ 7.1	▲ 3.6
2	-	-	P▲ 12.5	2.7	2.5	P34.2	21.1	P260.9	0.0	0.0
出所	国土交通省		りゅうぎん総合研究所調べ							

注) 建設受注額は、2022年12月より調査先17社のうち、一部更改を行った。

注) 手持ち工事額は、2015年平均=100とする。

沖縄県内の主要金融経済指標(その2)

暦年	入域観光客数		入域観光客数のうち外国客		ホテル稼働率(実数)		ホテル売上高(前年比)		観光施設入場者数	ゴルフ場入場者数	
	千人	前年比	千人	前年比	市内	リゾート	市内	リゾート	前年比	前年比	
2021	3,016.7	▲ 19.3	0.0	▲ 100.0	24.3	22.2	▲ 30.4	▲ 20.0	▲ 41.0	8.6	
2022	5,697.8	88.9	47.7	100.0	46.9	43.4	92.9	104.3	134.1	4.7	
2023	8,235.1	44.5	986.3	1,967.7	P57.4	56.0	P40.8	33.3	P62.9	3.3	
2023 1	532.2	137.0	44.8	100.0	55.9	44.0	156.0	113.6	203.7	29.7	
2	597.9	233.6	43.4	100.0	70.9	58.5	214.5	262.7	317.5	29.9	
3	766.2	84.3	64.2	100.0	62.8	55.2	89.2	84.7	131.9	8.9	
4	669.9	63.8	66.8	100.0	53.8	55.9	58.8	62.2	109.3	▲ 5.6	
5	645.3	62.6	70.0	100.0	46.6	50.6	27.3	53.2	94.4	12.3	
6	663.4	47.9	77.7	100.0	55.5	55.4	52.3	51.6	80.7	▲ 6.6	
7	778.5	28.1	114.9	100.0	55.1	65.5	28.8	31.3	54.7	▲ 2.7	
8	728.6	13.7	96.4	96,300.0	50.3	55.5	39.0	▲ 0.5	11.2	▲ 21.0	
9	710.1	43.5	106.6	100.0	56.5	55.0	33.0	23.6	P43.5	9.4	
10	788.4	25.0	115.5	4,177.8	60.8	64.9	18.4	12.7	34.2	▲ 5.5	
11	688.0	11.9	90.9	651.2	57.8	57.4	▲ 6.1	▲ 1.4	23.9	▲ 0.1	
12	666.6	5.0	95.1	189.9	63.9	47.7	3.8	▲ 4.8	15.6	0.5	
2024 1	629.1	18.2	120.3	168.5	58.9	P45.3	15.9	P4.5	25.9	▲ 2.3	
2	719.2	20.3	144.8	233.6	72.0	P60.4	18.8	P13.7	P30.4	▲ 2.0	
出所	県文化観光スポーツ部 観光政策課				りゅうぎん総合研究所調べ						

注) ホテルは、2021年11月より調査先が28ホテルから27ホテルとした。

注) ゴルフ場入場者数は、2021年4月より調査先を8ゴルフ場から6ゴルフ場とした。

暦年	企業倒産件数	負債総額		消費者物価指数	失業率(季調値)	就業者数	有効求人倍率(季調値)	新規求人数(県内)	広告収入	
	件	百万円	前年比	前年比	%	前年比	倍	前年比	前年比	
2021	38	10,989	201.9	0.0	3.6	0.4	0.80	0.7	3.9	
2022	34	6,120	▲ 44.3	2.8	3.3	2.1	0.98	22.5	▲ 2.9	
2023	40	3,398	▲ 44.5	3.7	3.3	1.7	1.16	7.5	▲ 2.6	
2023 1	2	128	▲ 95.5	4.0	2.8	0.9	1.13	23.7	▲ 0.1	
2	3	430	4,200.0	2.8	3.5	1.6	1.12	11.0	▲ 0.1	
3	6	145	▲ 84.5	3.1	3.9	0.1	1.14	7.5	▲ 7.6	
4	3	294	72.9	3.8	4.0	0.0	1.18	18.0	▲ 6.3	
5	4	689	474.2	3.6	3.7	1.1	1.20	16.6	▲ 11.5	
6	5	225	100.0	4.6	3.0	2.4	1.20	▲ 0.5	1.7	
7	3	147	56.4	4.0	2.5	3.9	1.20	15.4	▲ 2.0	
8	1	20	▲ 94.8	4.2	4.0	0.5	1.19	1.5	▲ 1.2	
9	6	771	828.9	3.7	3.4	0.9	1.20	5.0	3.7	
10	1	200	▲ 75.5	3.5	3.4	3.7	1.16	1.4	6.0	
11	4	239	218.7	3.6	3.2	3.1	1.11	▲ 7.2	▲ 7.1	
12	2	110	▲ 82.2	3.6	2.9	1.3	1.13	0.2	▲ 4.1	
2024 1	4	416	225.0	3.2	2.8	1.2	1.14	▲ 2.4	0.1	
2	6	157	▲ 63.5	-	-	-	-	-	-	
出所	東京商工リサーチ沖縄支店			県企画部統計課		沖縄労働局		りゅうぎん総研調べ		

注) 消費者物価指数は、2021年7月より2020年=100に改定された。

注) 失業率と有効求人倍率は、2023年12月以前の数値について新季節指数へ遡って改訂した。

注) 有効求人倍率(季調値)と新規求人数は、就業地ベース。

沖縄県内の主要金融経済指標(その3)

年度	銀行券 発行額	銀行券 還収額	銀行券 増減 (▲還収超)	貸出 金利 (地銀3行)	県内金融機関 の預金残高 (末残)		地銀3行預金量 (信託勘定含む末残)		地銀3行融資量 (信託勘定含む末残)	
	億円	億円	億円	%	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比
2021FY	2,825	2,906	▲ 80	1.356	58,716	4.1	58,037	4.1	41,033	0.5
2022FY	2,581	3,453	▲ 873	1.332	60,834	3.6	60,065	3.5	41,959	2.3
2023FY	-	-	-	1.318	-	-	-	-	-	-
2023 1	144	417	▲ 272	1.331	60,153	3.2	59,447	3.2	41,466	1.6
2	178	306	▲ 128	1.328	60,217	3.4	59,542	3.3	41,654	2.1
3	202	352	▲ 149	1.324	60,834	3.6	60,065	3.5	41,959	2.3
4	271	241	30	1.332	61,863	2.6	61,161	2.5	41,478	2.0
5	155	419	▲ 264	1.333	61,841	2.8	61,098	2.7	41,518	1.5
6	187	286	▲ 98	1.329	62,029	2.1	61,274	2.0	41,570	1.6
7	196	279	▲ 83	1.325	62,316	2.3	61,590	2.2	41,630	1.6
8	246	364	▲ 117	1.325	62,275	2.4	61,531	2.4	41,559	1.3
9	167	418	▲ 251	1.325	62,215	2.8	61,480	2.8	41,799	1.3
10	209	323	▲ 113	1.327	61,897	2.2	61,174	2.2	41,641	1.2
11	258	352	▲ 93	1.328	62,021	2.4	61,242	2.4	41,766	1.2
12	352	181	170	1.318	61,973	2.3	61,202	2.2	42,233	1.9
2024 1	148	500	▲ 352	1.320	61,654	2.5	60,873	2.4	42,248	1.9
2	-	-	-	-	-	-	60,821	2.1	42,428	1.9
出所	日本銀行那覇支店				日本銀行本店		沖縄県銀行協会			

注) 銀行券増減は、端数調整により一致しない場合がある。

注) 貸出金利は、暦年ベース。

年度	沖縄振興開発 金融公庫融資量 (末残)		沖縄県信用保証協会 債務残高(末残)		鉱工業生産指数 (季調値)		通関 輸出	通関 輸入
	億円	前年比	億円	前年比	2015年=100	前年比	百万円	百万円
2021FY	10,428	1.0	3,005	4.9	-	-	44,890	126,238
2022FY	10,667	2.3	3,006	0.0	-	-	75,417	302,815
2023FY	-	-	-	-	-	-	52,671	288,310
2023 1	10,733	2.7	3,002	0.0	75.0	▲ 1.6	1,061	17,031
2	10,727	2.7	2,996	▲ 0.1	75.6	2.6	1,870	12,347
3	10,667	2.3	3,006	0.0	77.3	0.4	5,927	25,429
4	10,618	1.3	2,987	0.1	72.0	▲ 11.4	24,678	21,830
5	10,569	1.2	2,977	▲ 0.1	72.8	2.8	1,147	10,583
6	10,501	0.7	2,971	▲ 0.1	72.9	▲ 0.4	1,429	20,164
7	10,465	1.2	2,969	▲ 0.3	70.4	0.3	1,943	47,767
8	10,287	▲ 3.7	2,964	▲ 0.5	68.8	▲ 0.5	1,326	36,444
9	10,238	▲ 4.6	2,961	▲ 0.7	78.7	7.8	2,555	15,641
10	10,321	▲ 3.7	2,953	▲ 1.4	72.9	1.1	1,620	17,430
11	10,285	▲ 4.3	2,954	▲ 1.2	77.0	13.2	7,894	50,581
12	10,241	▲ 4.6	2,946	▲ 1.7	73.3	4.3	1,380	12,960
2024 1	10,203	▲ 4.9	2,936	▲ 2.2	-	-	2,138	14,788
2	-	-	2,924	▲ 2.4	-	-	1,691	16,725
出所	沖縄振興開発金融 公庫		沖縄県信用保証協会		県企画部統計課		沖縄地区税関	

注) 県内金融機関の預金残高は、19年2月分より日本銀行(本店)ホームページ上で公表している県内預金合計に遡及改訂した。

注) 鉱工業生産指数は暦年ベース。暦年値、前年比は原指数の増減率。2019年4月より2015年=100に改定された。

注) 貿易概況は、暦年ベース。